小学校 × 算数

算数どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 4項目　解説PDF 1件



10秒でいうと

割合・比・分数の内容と順序を見直し。証明につながる「論理的に説明する活動」を充実

算数は、小・中・高で目標と見方・考え方をそろえる方向です。学習内容は共通の6つの「分野」で整理する案です。割合・比・分数など、つまずきやすい内容は、内容や順序の見直しを検討するとされています。中学校の証明につながる「論理的に説明する活動」も充実する方向です。算数の公式の英語表記は「Mathematics」に改めるとされています。

どこが変わる？現行⇔次期（小学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

学習内容の区分の仕方

現行

小学校算数・中学校数学は「領域」、高校数学は「項目」という名前で区分。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

小学校算数～高校数学Ⅰまでを、共通の**6つの「分野」**（数と式、図形、変化と関係、データと確からしさ、**論証**、**社会を読み解く数学**）で整理し、さらに「区分」に分ける方向。

P167 P170

見方・考え方

現行

事象を「数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え」、「論理的、統合的・発展的に考える」こと。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「事象や**言説**を**数理の視点**から捉え、論理的、統合的・発展的、**批判的**に考察すること」。小・中・高で文言を統一する案。

P169 ※現行・改訂案の並記は資料編m2 P183（算③）。「批判的」は建設的な目的の意味と解説で示す

数学的活動の位置付け

現行

これまでの学習指導要領で、算数科・数学科の学習過程として位置付けられてきた。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「数学的活動」を個々の学習内容として規定するのではなく、**教科全体を通じて**充実に取り組む旨を規定すべきとされた。

P178

評価規準づくり

現行

各学校が、内容のまとまりごとの評価規準、単元の目標、単元の評価規準を作成。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「内容のまとまりごとの評価規準例」は**国が示し**、学校での**作成は不要**にする方向。算数・数学の「内容のまとまり」は**「区分」ごと・学年ごと**の「内容」とする方向。単元の目標がそのまま単元の評価規準になる考え方。

P179

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの小学校の算数の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **算数編**
小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編

学習指導要領の本文

PDF **小学校学習指導要領（平成29年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

小学校の算数の指導案（試案）



小 算数 4年

どちらが「大きくふえた」？

本時のねらい 図書委員会のお知らせ「いちばん大きくふえたのは2組！」が本当にそう言えるかを、差と倍の二つの見方で確かめ、もとの数がちがうときの…

指導案を見る →

もっとくわしく

算数の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 小学校の先生へ
資料室（小学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。